

## 大学の世界展開力強化事業 中間評価現地調査実施要領（案）

平成 30 年 月 日

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会

## 1. 目的

中間評価部会（以下「評価部会」という。）が必要と判断した事業を実施する大学に評価部会委員が赴き事業責任者等との質疑応答等を行うことにより、当該事業の現状を的確に把握し、評価に資することを目的とする。

## 2. 実施方法

当該大学より、書面評価及び面接評価結果に基づき評価部会が事前に示す質問への回答を中心に、事業の取組状況等についての説明を受けるとともに、学生との意見交換、教育現場や施設の視察を行う。

## 3. 参加者

## ○ 実施者

- ・評価部会委員数名（うち 1 名を主担当委員とする）で構成するグループ

## ○ 大学側

- ・事業責任者、事業実施担当者
- ・当該事業により海外相手大学に派遣された日本人学生及び海外相手大学から受け入れている留学生（5～8 名程度）
- ・大学事務局職員（必要に応じて同席）

## 4. 実施項目とスケジュール例

時間	事項	所要時間	
13:30～13:45	事前打合せ（実施者のみ）	15 分	3 時間半 程度
13:45～14:15	教育現場・施設の視察	30 分	
14:15～15:25	学生との意見交換	70 分	
15:25～16:35	事業責任者等からの説明・質疑応答 （説明者は、事前に示す質問への回答を含む事業の取組状況等について、別途パワーポイント等で作成した資料により説明）	70 分	
16:35～16:55	事後打合せ（実施者のみ）	20 分	
16:55～17:00	主担当委員による講評	5 分	
17:00	終了	-	

## 5. 実施後の対応

- （1）実施者は、現地調査によっても明らかにならなかった点や新たに生じた不明点等がある場合には、必要に応じて大学に対して書面による事情聴取を行うことができる。
- （2）主担当委員は、現地調査により得られた結果を評価部会に報告する。